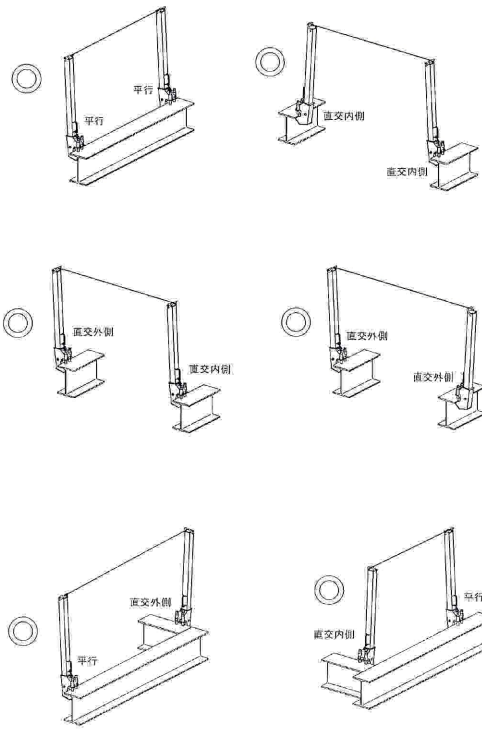
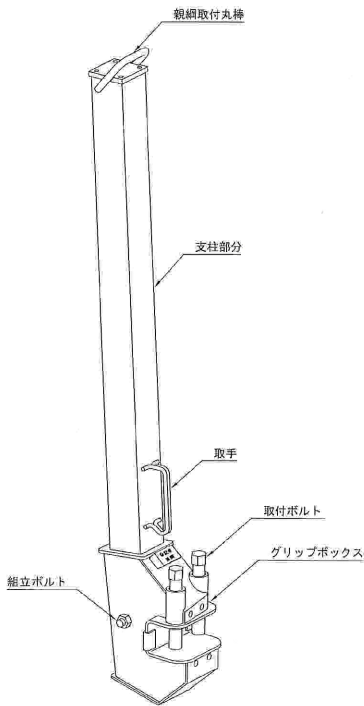


# 鉄骨用親綱支柱 SK-920P 兼用型

(社)仮設工業会認定品

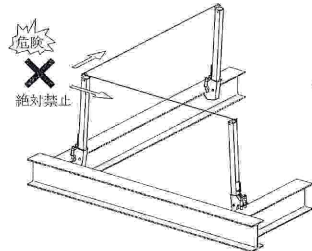


## 使用方法

- ①鉄骨用親綱支柱は10m以内で設置してください。(設置高下記参照)
- ②支柱に付いている2本のボルトを均等にラチェット等でH型鋼のフランジ等の支持物にトルク6KN・cmで締め込んでください。
- ③親綱は目で見てたわんでないか、わずかにたわむ程度に、人力で0.3KN程度で張って下さい。(親綱・緊張器は認定基準に準ずるものを使用して下さい。)

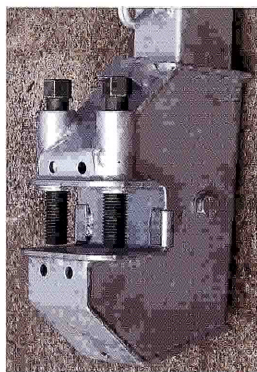
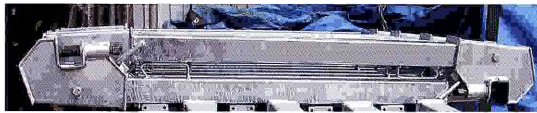
## 使用上の注意

- コーナーに使用する支柱には平行方向と直交方向の2本の支柱用親綱を同時に取り付けしないで下さい。
- H鋼のフランジ部分は、確実に支柱ボックス部の奥まで差し込んで下さい。
- 1スパンに作業者は必ず1人でご使用下さい。
- 安全帯は、安全性の確認されたものを用いて、安全帯のランヤードの長さを1.7m以内にして使用して下さい。
- 作業床と衝突の恐れのある床面や機械設備などとの垂直距離が少ない場合、下記のスパンで支柱を設置して下さい。



垂直距離 (m)	3.8	4	4.5	5	5.5以上
支柱設置間隔 (m)	3.2	4	6	8	10

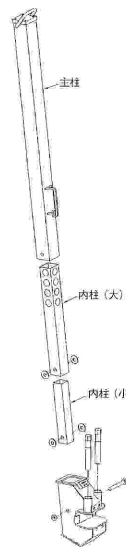
## 集積時



←ボックス部

## 特徴

- ほぼ垂直タイプの支柱で兼用型 (傾斜角87度)
- 支柱が三層構造の為、衝撃に対して主柱が変形しながら力を吸収する構造になっています。
- 本体がコンパクト
- 集積時もコンパクト
- 自重 8.8kg
- 溶融亜鉛メッキ



特許申請中

発売元  
セイコー機器株式会社

代理店

製造元  
江戸川機鋼株式会社